

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月9日

上場会社名 アグロ カネショウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4955 URL <https://www.agrokanesho.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫛引 博敬
 問合せ先責任者(役職名) 経理部統括部長 (氏名) 高橋 克幸 (TEL) 03 (5570) 4711
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 2019年9月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	7,412	△13.8	773	△46.6	780	△45.8	528	△45.4
2018年12月期第2四半期	8,594	5.6	1,448	13.1	1,440	12.8	969	△35.7

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 336百万円(△43.1%) 2018年12月期第2四半期 591百万円(△70.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	41.83	—
2018年12月期第2四半期	76.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	30,441	21,697	61.0
2018年12月期	30,429	21,625	60.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 18,575百万円 2018年12月期 18,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2019年12月期	—	10.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,848	△3.7	1,107	△48.7	1,175	△45.6	783	△39.8	61.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	13,404,862株	2018年12月期	13,404,862株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	735,464株	2018年12月期	735,464株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	12,637,562株	2018年12月期2Q	12,635,956株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する説明	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内農業は、農業生産量の減少、農業生産者の減少および高齢化が進んでおり、依然として市場環境は厳しい状況にあります。他方で、大規模生産者や農業法人の増加など農業生産構造の変化が現れてきています。国内農業業界では、2018年12月に農薬取締法の一部改正が施行され、今後一層、農薬の安全性の向上が期待されるようになりました。また、グローバル企業の再編が進展し、今後の国内外での農薬販売の構図も大きく変わるものと予想されます。

このような情勢の中で当社グループは、経営理念である「我が信条」（お客様のため、社員のため、社会のため、株主のためという4か条）ならびに「どこまでも農家とともに」をモットーとして技術普及・販売を展開しております。そして100年企業を目指すために、「Lead The Way 2025」をスローガンとした長期事業計画とともに、新中期事業計画(2019年～2021年)を策定し、「飛躍のための加速期間」をテーマとして取り組んでおります。

研究開発部門では、創薬のための研究開発を継続するために組織力の増強と研究レベルの向上をはかり、ポートフォリオの充実と海外市場での開発の拡大を図っております。

生産部門では、2018年11月1日に山口工場を設立しました。新工場は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により操業停止になりました福島工場に代わる生産拠点であり、茨城工場・直江津工場と併せて、自社生産体制が大きく向上しております。また、西日本の物流拠点としての機能を持ち、関東の所沢倉庫と併せて、製品の供給体制が強化されました。

営業技術普及部門においては、農業生産者への適切な技術情報の提供に加えて、開設5年目になる土壌分析室を活用し、農業の根幹となる土づくり、土壌のセンチュウ対策、病害虫診断の支援活動を拡大しています。さらに、グローバルGAP認定取得支援ならびに地域の農業・栽培問題解決のための研究実践農場の運営などを開始し、地域農業や農業生産者への付加価値サービスの向上に努めております。

また、2018年12月に株式会社KANESHO CHPを設立し、Dow Agrosciences LLCが日本及び韓国で展開していたクロルピリホス剤の営業権を取得し、販売しております。

当第2四半期連結累計期間においては土壌消毒剤の売上が伸びませんでした。また、のれんの償却負担増と研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は74億1千2百万円（前年同四半期比11億8千2百万円の減少、前年同四半期比13.8%減）、営業利益は7億7千3百万円（前年同四半期比6億7千4百万円の減少、前年同四半期比46.6%減）、経常利益は7億8千万円（前年同四半期比6億5千9百万円の減少、前年同四半期比45.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億2千8百万円（前年同四半期比4億4千万円の減少、前年同四半期比45.4%減）となりました。

グループの売上高は事業の性質上、業績に季節的変動があり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向にあります。また、研究開発費は他の四半期連結会計期間と比較して第4四半期連結会計期間に多く計上される傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は304億4千1百万円（前連結会計年度比1千2百万円の増加、前連結会計年度比0.0%増）となりました。これは主に流動資産の内、現金及び預金が6億1千4百万円、たな卸資産が3千2百万円、その他が4億1千万円減少する一方、売上債権が15億7千5百万円増加したことにより、流動資産が前連結会計年度比5億1千7百万円増加し、固定資産の内、繰延税金資産が1億1千7百万円増加する一方、有形無形固定資産が4億円、長期預金が2億2千万円減少したことにより、固定資産が前連結会計年度比5億5百万円減少したことによるものであります。

(負債及び純資産)

当第2四半期連結会計期間末における負債は87億4千3百万円（前連結会計年度比5千9百万円の減少、前連結会計年度比0.7%減）となりました。これは山口工場建設のための借入があり、借入金が10億1千3百万円、未払法人税等が5千5百万円増加する一方、支払手形及び買掛金が8億9千5百万円、流動負債のその他が2億5千7百万円減少したことによるものです。純資産は216億9千7百万円となりました。その結果、自己資本比率は61.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、115億1千7百万円（前年同四半期比18億5千7百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは11億5千6百万円の減少（前年同四半期比5億9千5百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（8億2千7百万円）、減価償却費（4億4千万円）による収入及び、売上債権の増加（16億円）、仕入債務の減少（8億7千1百万円）、法人税等の支払（2億6千3百万円）による支出によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは1億4千2百万円の増加（前年同四半期比27億2千2百万円の増加）となりました。これは主に、定期預金の払戻（2億2千5百万円）による収入及び、有形固定資産の取得（7千7百万円）による支出によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは7億3千3百万円の増加（前年同四半期比19億円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の借入（12億円）による収入及び、配当金の支払（1億5千2百万円）、非支配株主への配当金の支払額（1億2千1百万円）による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。

従いまして、実際の業績は、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,132,212	11,517,239
受取手形及び売掛金	4,462,507	5,034,861
電子記録債権	—	1,003,022
商品及び製品	2,642,673	2,184,612
仕掛品	136,914	174,616
原材料及び貯蔵品	1,405,193	1,793,416
その他	779,613	369,243
貸倒引当金	△435	△408
流動資産合計	21,558,678	22,076,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,871,317	2,802,231
機械装置及び運搬具（純額）	1,339,035	1,170,410
土地	1,808,782	1,808,782
その他（純額）	96,621	111,544
有形固定資産合計	6,115,756	5,892,968
無形固定資産		
のれん	1,902,055	1,726,423
その他	22,922	20,596
無形固定資産合計	1,924,977	1,747,020
投資その他の資産		
投資有価証券	112,828	109,634
長期預金	220,000	—
繰延税金資産	323,412	440,747
その他	200,256	201,653
貸倒引当金	△26,800	△26,800
投資その他の資産合計	829,697	725,236
固定資産合計	8,870,432	8,365,225
資産合計	30,429,110	30,441,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,875,594	979,615
短期借入金	—	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	389,316	390,441
未払法人税等	303,156	358,879
賞与引当金	47,703	66,031
その他	1,548,983	1,291,748
流動負債合計	4,164,753	4,286,715
固定負債		
長期借入金	2,971,476	2,784,130
退職給付に係る負債	376,271	380,512
役員株式給付引当金	48,611	50,732
長期末払金	523,542	499,942
その他	719,220	741,851
固定負債合計	4,639,121	4,457,169
負債合計	8,803,874	8,743,884

純資産の部		
株主資本		
資本金	1,809,177	1,809,177
資本剰余金	2,145,076	2,145,076
利益剰余金	15,016,705	15,395,520
自己株式	△549,915	△541,822
株主資本合計	18,421,044	18,807,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,083	39,862
為替換算調整勘定	△66,363	△243,872
退職給付に係る調整累計額	△59,221	△28,315
その他の包括利益累計額合計	△83,500	△232,325
非支配株主持分	3,287,692	3,122,318
純資産合計	21,625,235	21,697,944
負債純資産合計	30,429,110	30,441,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,594,820	7,412,043
売上原価	5,082,844	4,370,399
売上総利益	3,511,976	3,041,643
販売費及び一般管理費	2,063,808	2,268,041
営業利益	1,448,167	773,602
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,833	2,732
受取地代家賃	7,801	7,792
受取保険金	—	13,085
情報提供料収入	—	44,762
その他	5,546	8,579
営業外収益合計	16,181	76,952
営業外費用		
支払利息	2,929	9,752
為替差損	11,280	57,613
支払手数料	6,888	1,737
その他	3,081	529
営業外費用合計	24,181	69,633
経常利益	1,440,168	780,921
特別利益		
投資有価証券売却益	59,000	—
受取補償金	—	46,338
特別利益合計	59,000	46,338
税金等調整前四半期純利益	1,499,168	827,259
法人税、住民税及び事業税	527,910	316,745
法人税等調整額	△123,406	△90,363
法人税等合計	404,504	226,382
四半期純利益	1,094,664	600,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	125,608	72,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	969,055	528,677

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,094,664	600,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,024	△2,220
為替換算調整勘定	△456,350	△293,197
退職給付に係る調整額	△3,232	30,905
その他の包括利益合計	△503,608	△264,512
四半期包括利益	591,055	336,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	646,885	379,852
非支配株主に係る四半期包括利益	△55,830	△43,488

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,499,168	827,259
減価償却費	146,327	440,691
受取補償金	—	△46,338
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,896	18,327
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15,052	4,772
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	12,152	10,146
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△23,600
受取利息及び受取配当金	△2,833	△2,732
投資有価証券売却損益(△は益)	△59,000	—
支払利息	2,929	9,752
受取保険金	—	△13,085
情報提供料収入	—	△44,762
為替差損益(△は益)	30,204	40,264
売上債権の増減額(△は増加)	△2,892,052	△1,600,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△299,767	22,278
その他の流動資産の増減額(△は増加)	282,580	428,358
仕入債務の増減額(△は減少)	252,480	△871,732
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△62,371	△349,949
その他	△178,638	160,474
小計	△1,263,976	△990,422
利息及び配当金の受取額	2,698	3,370
利息の支払額	△2,938	△9,758
受取保険金の受取額	—	13,085
情報提供料収入の受取額	—	44,762
法人税等の支払額	△488,221	△263,990
補償金の受取額	—	46,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,752,437	△1,156,614
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,670,275	△77,985
有形固定資産の売却による収入	—	4,360
無形固定資産の取得による支出	△4,480	△1,216
投資有価証券の売却による収入	68,000	—
貸付けによる支出	—	△12,000
貸付金の回収による収入	6,741	4,380
定期預金の払戻による収入	20,000	225,428
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,580,014	142,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,200,000
長期借入れによる収入	3,100,000	9,000
長期借入金の返済による支出	△122,824	△195,220
自己株式の取得による支出	△202	—
配当金の支払額	△152,138	△152,139
非支配株主への配当金の支払額	△183,362	△121,885
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,235	△5,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,634,237	733,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△479,670	△335,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,177,885	△614,973
現金及び現金同等物の期首残高	15,552,628	12,132,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,374,742	11,517,239

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、農薬の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。